

リズ・キーナガン・クラーク氏 御略歴

リズ・キーナガン・クラーク
英国エネルギー・気候変動省
原子力開発局原子力発電・国際案件担当副部長

略歴

獣医として1年間務めた後、2006年に英国労働年金省へ入省。2008年年金法の可決に向け大臣の発言要領やブリーフィング資料作成、労働年金省の下にある雇用問題に関する情報提供機関であるジョブセンター・プラス利用者の能力開発プログラム、政府の保険、雇用、国民の幸福に関する戦略グループの活動などに従事。

英国労働年金省社会保障改革チームリーダー（2008-2010）、ヤング財団上席研究員（2010）、公的セクター年金委員会の政策戦略担当（2010-2011）を経て2011年5月に英国エネルギー・気候変動省へ入省。消費者保護・グリーンディール政策課長を務める（2011-2013）。

2013年7月より現職。原子力発電所の新設プログラム、プルトニウム廃棄プログラム、原子力規制に関する人材育成、小型原子炉の将来性に関する実証実験など原子力に関する技術革新（イノベーション）を担当。